

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和6年度	令和5年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	543,333	761,011	△ 217,678
減価償却費	4,115,791	3,981,529	134,262
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17,524	28,692	△ 11,168
賞与引当金の増減額(△は減少)	212	1,896	△ 1,684
貸倒引当金の増減額(△は減少)	334	△ 1,520	1,854
長期前受金戻入額	△ 2,292,008	△ 2,212,787	△ 79,221
支払利息及び企業債取扱諸費	793,232	782,886	10,346
固定資産除却損	25,101	14,165	10,936
過年度損益修正損	—	557	△ 557
災害による損失	—	5,568	△ 5,568
減損損失	—	24,267	△ 24,267
未収金の増減額(△は増加)	259,238	△ 273,997	533,235
貯蔵品の増減額(△は増加)	282	955	△ 673
未払金の増減額(△は減少)	194,350	△ 136,719	331,069
預り金の増減額(△は減少)	△ 749	△ 289	△ 460
小 計	3,656,640	2,976,214	680,426
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 839,436	△ 736,683	△ 102,753
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,817,204	2,239,531	577,673
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 6,160,124	△ 5,350,093	△ 810,031
無形固定資産の取得による支出	△ 337	—	△ 337
国庫補助金等による収入	3,531,476	1,892,478	1,638,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,628,985	△ 3,457,615	828,630
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	2,000,000	2,000,000	0
一時借入金の返済による支出	△ 2,000,000	△ 2,000,000	0
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	3,534,800	4,324,500	△ 789,700
その他の企業債による収入	138,300	154,600	△ 16,300
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,369,542	△ 2,899,934	△ 469,608
その他の企業債の償還による支出	△ 655,003	△ 412,574	△ 242,429
他会計からの繰入による収入	495,143	485,251	9,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,698	1,651,843	△ 1,508,145
資金増加額 (又は減少額)	331,917	433,759	△ 101,842
資金期首残高	2,477,170	2,043,411	433,759
資金期末残高	2,809,087	2,477,170	331,917

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュ・フロー（CF）で表される。

本年度は、企業債の償還額が借入額を上回ったこともあり、財務活動によるキャッシュ・フローのプラス幅は大きく減少した。業務活動によるキャッシュ・フローはプラス、投資活動によるキャッシュ・フローはマイナスである。その結果、資金期末残高は28億908万7千円となり、前年度に比べて3億3,191万7千円増加している。ただし、その要因は、収益の増加によるものではなく、未払金の増加や投資額の減少によるものである。